

平成23年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	独立行政法人国立病院機構運営費	担当部局庁	医政局	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	平成16年度～	担当課室	国立病院課 国立病院機構管理室長	室長：宇口比呂志				
会計区分	一般会計	施策名	IV-1-5 政策医療を向上・均てん化させる					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	独立行政法人通則法(平成11年法律第103号)第46条	関係する計画、通知等	-					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	独立行政法人国立病院機構が行う業務(医療の提供、医療に関する調査及び研究、医療に関する技術者の研修及びこれらの附帯業務)にかかる経費の一部に充てることにより、同機構の業務の円滑な実施及び同業務の推進に資すること。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	独立行政法人国立病院機構の業務に係る経費のうち、国の在職期間を有する職員についての当該期間にかかる退職手当、既退職者にかかる年金費用の負担額等の国の期間にかかる過去債務に関する費用、救急医療・周産期医療・結核医療等の診療事業に関する費用、臨床研究にかかる費用等の一部に相当する額を運営費交付金として交付。 平成22年度予算における内訳 過去債務にかかる費用 34,728百万円、診療事業 4,898百万円、臨床研究事業 3,074百万円、教育研修事業等 981百万円							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input checked="" type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
	予算の状況	当初予算	47,854	45,972	43,682	36,202	32,582	
		補正予算						
		繰越し等						
		計	47,854	45,972	43,682	36,202	32,582	
		執行額	47,854	45,972	43,682			
	執行率(%)	100.0%	100.0%	100.0%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (23年度)
	医療を提供することが主な業務であり、定量的な成果目標を確立することは、困難である。		成果実績	—	—	—	—	—
			達成度	%	—	—	—	—
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	1日平均入院患者数		活動実績	人	44,943	44,278	44,570	—
			(当初見込み)		(—)	(—)	(—)	(—)
単位当たりコスト	— (円/)		算出根拠	-				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	人件費、事業費等	36,202	32,582	過去債務(退職手当及び整理資源)の減				
	計	36,202	32,582					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	-
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	-
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	-
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	事業の目的や必要性等について精査した結果、現段階では、特段問題はない。		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	事業仕分け・公開プロセス等の結果を踏まえ、本事業の必要性等を見直し、優先順位を付けるなど効率化を図ること。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
予算監視・効率化チームの所見を踏まえ、更に事業の必要性等について検証し、過去債務の減等を含めて3,620百万円を削減し概算要求額とした。うち、病院内保育所運営費の削減を行ったことにより352百万円を削減を図る。(▲352百万円)			
補記(過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
<事業番号/事業名> B-5-(1) 診療事業 <結果> 当該法人が実施し、事業規模は縮減 病院のガバナンスについては抜本的見直し 本部経費縮減、ブロック事務所は廃止を含めて検討 他の公的病院との再編等についても広く検討 再仕分け A-11(独)国立病院機構運営費交付金 <結果> 判定不能 ガバナンスの見直し 設備投資計画の第三者によるチェック			

※平成22年度実績を記入

厚生労働省
43,682百万円

[運営費交付金]

独立行政法人国立病院機構
43,682百万円

国立病院機構の運営に必要な経費の一部
(国期間の退職金、不採算医療、臨床研究 等)

A 国家公務員
共済組合連合会
17,941百万円
(整理資源)

B 財務省
50百万円
(恩給負担金)

C 独立行政法人国立病院機構
(144施設 10,532百万円)

(内訳) 上位10施設

災害医療センター	466百万円
長崎医療センター	441百万円
名古屋医療センター	412百万円
大阪医療センター	399百万円
京都医療センター	333百万円
東京医療センター	330百万円
九州医療センター	258百万円
呉医療センター	217百万円
仙台医療センター	208百万円
相模原病院	194百万円

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

A. 国家公務員共済組合連合会			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
整理資源	整理資源の支払	17,941			
計		17,941	計		0
B. 財務省			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
恩給負担金	恩給負担金の支払	50			
計		50	計		0
C. 災害医療センター			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
医薬品費	医薬品の購入	1,340			
診療材料費	診療材料の購入	899			
給食用材料費	給食用材料の購入	14			
計		2,253	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者につい
 て記載する。費目と使途の双方
 で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A. 国家公務員共済組合連合会

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	国家公務員共済組合連合会	整理資源の支払	17,941	—	—
2				—	—
3				—	—
4				—	—
5				—	—
6				—	—
7				—	—
8				—	—
9				—	—
10				—	—

B. 財務省

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	財務省	恩給負担金の支払	50	—	—
2				—	—
3				—	—
4				—	—
5				—	—
6				—	—
7				—	—
8				—	—
9				—	—
10				—	—

C. 独立行政法人国立病院機構 災害医療センター

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	アルフレッサ株式会社	医薬品、給食用材料の購入	370	*	*
2	酒井薬品株式会社	医薬品の購入	297	*	*
3	ディーブイエックス株式会社	診療材料の購入	263	*	*
4	株式会社イソメディカルシステムズ	診療材料の購入	244	*	*
5	株式会社ウイン・インターナショナル	診療材料の購入	242	*	*
6	株式会社メディセオ	医薬品の購入	221	*	*
7	東京都赤十字血液センター	医薬品の購入	209	*	*
8	株式会社スズケン	医薬品、給食用材料の購入	198	*	*
9	株式会社サンライフ	診療材料の購入	151	*	*
10	社団法人日本アイソトープ協会	医薬品の購入	59	*	*

※ 自己財源を含む支出額である。(当該予算事業の遂行・支出にあたり交付金以外の財源が補填され、一体的に支出を行っているため。)
 ※ 「入札者数」及び「落札率」の欄に記載の「*」は、入札案件が複数含まれるもの。